

## 令和5年度全国中学生人権作文コンテスト新潟県大会表彰式について

令和5年12月9日（土）、新潟市民プラザで、令和5年度全国中学生人権作文コンテスト新潟県大会表彰式を開催しました。



新潟地方法務局と新潟県人権擁護委員連合会では、昭和47年から中学生を対象に人権作文コンテストを実施しています。

このコンテストは、次代を担う中学生の皆さんに、人権問題についての作文を書くことを通じて、人権尊重の大切さについての理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的としたものです。

本年度の新潟県大会には、県内184の中学校から、9,155編もの応募があり、県内各地での第一次審査を経て、12編の優秀作品が決定されました。

表彰式では、主催者や後援団体様から、受賞者の皆様に賞状等をお渡しした後、新潟地方法務局長賞と新潟県人権擁護委員連合会会長賞受賞作品の朗読がされました。

今回応募いただいたいずれの作品からも、次代を担う中学生の皆さんが、現代社会の人権課題を自分の問題としてしっかり認識した上で、前向きに考えていることが分かりました。また、感受性豊かな視点は、互いの人権を尊重し合うことの重要性を改めて訴えかけるものばかりでした。

今後は、優秀作品を作文集にして配布したり、ホームページに掲載するといった取組を通して、一人でも多くの方々に素晴らしい作文を届けていきます。

なお、今回の表彰式には、じんけん大使としてアルビくんにも参加いただいたほか、人権パネルや人権啓発キャラバンを通して元に戻った「人権ハート」、「新潟市人権イラスト展」入賞作品の展示なども併せて行いました。



このコンテストは、自分や周りの人たちの人権について考え、それを言葉にするという貴重な機会です。中学生の皆さんには、ぜひ、コンテストに参加いただきたいと思います。